



カテゴリー	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																	
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
																						
18	□	【環境マネジメントシステム】 ・ ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	・2008年、ISO14001環境マネジメントシステム認証取得し、現在運用中			3.9			6	7					12	13.3	14	15			
19	□	【環境情報開示】 ・ 環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	・環境方針の社内掲示、HPでの開示(HP内「環境にやさしく」にて)													12.6					
20	□	【再生可能エネルギーの利用】 ・ 再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	・石油・重油類を動力として使用していない ・再生可能エネルギーに積極的に取り組んでいる電力会社を選定 ・ガソリン消費の少ない発電用エンジンを搭載した車種を社用車に選定							7.2						13					
21	□	【天然資源の持続的利用】 ・ 天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	・サトウキビを絞った後のバガス(再生資材)などの非木材パルプを材料として調達 ・バイオマスプラスチック製品の開発													12.2	13	14	15		
22	□	【汚職・贈収賄防止】 ・ 汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	・当社経営方針の品質方針1項に「法令・規制項目の適合と向上」という形で法令順守を謳っており、社内に掲示し周知している																	16	16.5
23	□	【公正な競争】 ・ 不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	・同上																		16
24	□	【知的財産保護】 ・ 知的財産の保護に取り組んでいる	基本	・特許の取得状況：中子付どんぶり、こぼれにくい蓋、ダブルコーティング、トレイ(実用新案)等の発明が特許原簿に登録されている(特許証)								8.2	8.3	9								
25	□	【個人情報保護】 ・ 個人情報を適切に管理している	基本	・当社プライバシーポリシーをHPに開示 ・個人情報をまとめた書類は施錠できるキャビネットに保管 ・個人情報取得する際は、目的を決めて本人に伝えている(行政手続き等) ・取得した個人情報は目的外に利用していない																		16
26	□	【紛争鉱物】 ・ 紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	・当社が使用する原材料に紛争鉱物は使用していない ・今後取扱場合は統合マニュアル8.4購買情報8.4.5(1)購買先の評価・選定で管理する																		16
27	□	【サプライチェーン管理】 ・ サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	・グループ会社の会議(総務経理)により、人権侵害の防止や倫理面での対応(ハラスメント対策等)について取り組みを発表し、情報共有している ・統合マニュアル8.4購買で管理					5				8		10		12	13	14	15	16	17
28	□	【製品・サービスの安全性】 ・ 製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	・ISO統合マニュアル8.5.製造及びサービス提供 ・8.6 製品の検査(製品及びサービスのリリース)			3.9										12.4					
29	□	【品質保証】 ・ 品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	・2006年、ISO9001品質マネジメントシステム認証取得し、現在運用中										9								
30	□	【環境配慮】 ・ 環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	・ハイブリッドメラミン食器：成形材料に含まれる木材パルプの代わりに、サトウキビを絞った後のバガスや、成長の早い竹の繊維など、非木材パルプを材料に使用した環境に配慮した食器の開発						6							12	13	14	15		
31	□	【社会課題解決】 ・ 社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	・体の不自由な方、高齢者の自立を支援するユニバーサル食器(自助食器)の企画・製造・販売 ・人手不足を解消する新調理システム対応食器の企画・製造・販売 ・簡易包装による、梱包資材の低減	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	

	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																			
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
																								
32	□	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	・参院選投票キャンペーンマスの作成(小諸市入札物件)				4						9		11	12		14	15		17		
33	□	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	・YDC交通安全啓発運動(地域での活動) ・小諸市の消防団協力事業所表示制度に登録し、消防団活動に貢献している				4								11			14	15		17		
34	□	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用(地消地産、地産外商)している	チャレンジ	・地域の食材を利用している弁当業者を選定(あんでーくく) ・経営資源となる人材を地元ハローワークより採用										8	9		11	12	13					
35	□	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	・統合マニュアル4.2.2(経営方針の伝達)に基づく経営方針の配布、社内掲示、HPでの社外開示										8	9								17	
36	□	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	・品質方針、環境方針での法令順守の宣言(HP) ・統合マニュアル6.1.4による(法令)順守義務																			16	
37	□	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	・ISO委員会を中心としたマネジメントシステムの運用と内部監査、マネジメントレビューによる、PDCAに基づいた管理																			16	
38	□	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	基本	・「経営課題」「利害関係者のニーズ・期待」リストに基づく社内での認識と、経営目標への展開																			16	17
39	□	【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	・ISO9001/14001統合マネジメントシステムに基づいた、リスクアセスメントとPDCAに基づいたリスク管理システムの実践(リスク評価表)																			16	
40	□	【社会的責任】 ・CSR(Corporate Social Responsibility:企業の社会的責任)の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	・省電力化・CO <sub>2</sub> 排出削減など、環境に配慮した独自の製造工程を構築している ・環境配慮型商品、社会的包摂に寄与した商品の開発・生産・販売を行っている ・統合マニュアルの8.8有害な環境影響評価表にて著しいと特定し、法規制等により管理が必要な場合は環境手順書を作成して運用管理 ・8.9緊急事態と特定されたものは、定期的に訓練を行い定期テスト記録に残す																			16	
41	□	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	・安否確認システムを導入し、運用(2020/2連絡訓練実施) ・避難訓練の実施→手順書の見直し ・【予定】事業継続計画(BCP)の策定										9		11			13 13.1			16		
42	□	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	・知的資産承継に関しては、取得済の特許権は特許書類を纏めて管理。 ・経営・事業の状況を客観的に把握できるように「経営課題」「利害関係者のニーズ・期待」リストでの見える化 ・ISO委員会・生産委員会等を通じて、次の経営を担える人材育成を行っている										8	9								17	

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
省エネ設備対応	・省エネ設備導入 1.コンプレッサー(2018) 2.成形空調設備(2018)グリーン購入法調達基準適合							7.2 7.3					12.4	13.3				
女性の支援	・ISO委員に2名選任(16期組織図より) ・育児休業取得実績(2020/3 現在4名)					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。(今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。)
- ・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上(個人事業主等)、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。

また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等(※)を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。

(※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など)